

# JVA ゴールドプランプログラム

～みんなでバレーボールをやってみよう～

## 平成26年度「Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室」開催要項

1. 目的
  - ① トップ選手とのふれあいを通して、バレーボールに興味・関心を持たせバレーボールに取り組むきっかけをつくる。
  - ② Vリーグ選手のプレイをみたり、一緒に活動することによりVリーグのチームや試合に関心を持ち、進んで試合観戦やテレビ視聴をし応援しようとする態度を育てる。
  - ③ 経験者に対しての技術指導の場でなく、未経験者に対してバレーボールの楽しさを伝える場とする。
  - ④ 男子児童（チーム）の積極的参加を促し、男子選手増加と普及対策に努める。
  - ⑤ 親子が一緒に参加し、子育て講演会やソフトバレーボール交流試合を併行して開催し小学生バレーボールへの理解を深める。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会ゴールドプラン委員会・指導普及委員会  
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会  
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
4. 協力 Vリーグ機構
5. 開催期間 平成26年6月～平成26年9月上旬（Vリーグのオフの期間）
6. 開催地 全国10会場
7. 日程
  - 9：30～10：00 受付・開講式（V選手紹介）
  - 10：00～12：00  
（児童）
    - 実技～バレーボールを使っての体ほぐし運動
    - 実技～バレーボールにチャレンジ（基礎・基本技術）
    - 実技～Vリーグ選手の模範プレイ
  - （保護者）
    - 講演～「スポーツと子育て」
  - 12：00 昼食・休憩
  - 13：00～14：30  
（児童・保護者）実技～親と子のソフトバレーボール交流
  - 14：30～ 閉講式（V選手の質問コーナー）
    - \*サイン会・写真撮影

## 8. 参加者

- バレーボールの初心者と未経験者で個人又はグループによる参加とする。
- 既にバレーボールを行っている児童が未経験の子を誘ってくる形でもよい。
- 経験者のみになることのないように留意する。
- 1会場100名程度を参加させるようにし、男子の参加者が半数を占めるように努める。

## 9. 講師

- Vリーグチームより1会場に複数の選手を派遣するよう協力を得る。
- 実技指導者として小学生バレーボール指導経験者を委嘱する。
- 保護者講師として小学生教育関係者を委嘱する。
- アシスタントコーチとして、開催地バレーボール協会役員を各会場5名程度委嘱する。

## 10. その他

- 可能な限り親と子が一緒に参加するようにする。
- 開催地には、一定額の運営費を主催者が補助する。
- 講師（Vリーグ選手、実技講師、保護者講師）の旅費、謝礼等は主催者が負担する。
- 会場設営は、バレーボールコート1面、ソフトバレーボールコート4～6面以上を用意する。
- 保護者講演会場として50～80名程度着席できる部屋を用意する。
- 使用ボールは主催者が用意する。
- 参加した未経験者については、その後バレーボールを継続したかどうか等の追跡調査を行うこと

## 11. 開催申請

- 開催地は4月中に開催計画書及び予算書を提出する。
- 都道府県協会、都道府県小連と担当者が連絡の上、開催希望を尊重し、且つVリーグ機構の要望も取り入れて最終決定する。
- 開催地決定後、「開催マニュアル」を送付する。それをもとに準備・運営を進める。
- 開催地は教室終了後、すみやかに報告書を提出する。
- 事業担当者  
公益財団法人日本バレーボール協会ゴールドプラン委員会・指導普及委員会